

東京農工大学  
科学博物館

SINCE 1886



建物の改修を終え、モダンに生まれ変わった

「東京農工大学 科学博物館」。

館長の梅田倫弘教授に、博物館のあり方や

魅力について語っていただきました。



科学博物館長  
工学博士  
梅田 倫弘

東京農工大学

# 科学博物館 リニューアルオープン

古い歴史があるそうですね。  
科 学博物館は大変  
局蚕病試験場にあった「参考品陳列場」から始まります。「参考品陳列場」の設置は、1886（明治19）年。今から127年も前のことになります。  
当時明治政府は、外貨を得るための政策として養蚕に国力を注いでいました。その要として設立されたのが工学部の前身でもある蚕病試験場です。母体の発展とともに「参考品陳列場」は「纖維博物館」と名前を変えて、収集する資料の種類や点数の拡大に努めてきました。その成果が認められ、1952（昭和27）年には博物館法により「博物館相当施設」として認定されました。  
また、工学部の前身である「東京蚕業講習所」も、1899年（明治32）年に発足していますが、実は「東京蚕業講習所」は、当時としては珍しく、女性技術者の養成にも注力していた組織です。現代では、理系女子といふ言葉もてきて、女性の力を活用することにより注目が集まっていますが、本学では明治時代から女性の力を認め、技術教育をしていたということになります。

## 科学博物館 館内のご案内

およそ千平米の展示スペースには、世界的にも貴重な資料を保存・展示しています。



「東京蚕業講習所」では、多くの女性たちが技術を学んでいました。

### ――今回のリニューアルのポイントを教えてください――

#### 耐震

震度が弱いため建物の改修に合わせ、この機会に博物館のあり方も再定義しました。そのためのミッションが「①大学に関する学術資料の収集・保存、研究活用の場 ②大学の情報発信の場 ③地域貢献・生涯学習の場 ④博物館教育の場」という4点です。

①では、新しい分野の収集・研究にも挑戦していく予定です。例えば、ますます希少性が高くなるミシンや農機具、コンピューターのコレクションを活用し、保存・研究を進めたいと考えています。②では、学内で

新しい分野の収集・研究にも挑戦

していく予定です。例えば、ますます希少性

が高くなるミシンや農機具、コンピューターのコレクションを活用し、保存・研究を進めたいと考えています。②では、学内で



1914(大正3)年ごろの標本室の様子。  
六角形のケースは現在も展示に利用されています。

## 錦絵・商標展示室

養蚕をテーマにした錦絵や商標コレクションを所蔵。



富岡製糸場の錦絵は、社会科の教科書にも掲載されています。

遠藤章  
特別栄誉教授  
顕彰記念室  
高コレステロール薬スタチンを世界で初めて発見した、遠藤特別栄誉教授の活動の軌跡を紹介。



シャルドンネ人絹  
研究当時のスタチン製剤などの興味深い品々を展示しています。

1884年に作られた世界初の人造織維。日本唯一の展示品です。

## 科学博物館 館内のご案内

およそ千平米の展示スペースには、世界的にも貴重な資料を保存・展示しています。

した。学生への認知を広めるだけでなく、私たち自身が学生とふれあうことで、新しい意見を吸収する」とも目指しています。

「館内ではどのような資料を展示しているのでしょうか?」

維に関する資料を中心に展示しています。ぜひ見ていただきたいのは「シャルドンネ人絹」です。世界初の人造繊維ですが、日本では唯一の展示、世界的に見ても非常に貴重な品になります。また、色鮮やかな蚕織錦絵と商標の展示室も、美術館のようで来館者から人気です。富岡製糸場を描いた

錦絵は社会の教科書にも使われているものなので、「覧になつたことがある方も多いのではないか?」

一階の繊維機械展示室は、トヨタグループの創始者、豊田佐吉氏が発明したG型織機を始め、数多くの貴重な繊維機械があります。毎週火曜日には、機械が動いている様子を見学できます。繊維機械は大型のものが多いのでとても迫力がありおすすめです。

繊維技術研究会というボランティア団体の方々が機械を動かしているのですが、繊維関連企業のOBなど、専門家も多いのでトークもとてもおもしろいですよ。機械系の学生だけでなく、他分野の学生にもぜひ来館して欲しいですね。

## 開催報告

# Report

November  
23, 2012

at  
Fuchu  
civic hall

在学生の  
保護者を対象に

# 「ペアレンツ・デー」を開催



松永是学長の挨拶から開会  
進学・就職をテーマにさまざまな講演を行いました。

本学では、平成24年11月23日(金・祝)、ルミエール府中(府中市市民会館)コンベンションホール飛鳥において、学部3年次・獣医学科4・5年次)に在学する学生の保護者を対象に、ペアレンツ・デーを開催しました。

このペアレンツ・デーは、学生の保護者の皆様に東京農工大学の就学環境を直接ご覧いただくとともに、進学・就職・研究などの状況や各学部・各学科の教育方針をより深くご理解いただくことを目的とし、本年度から開催したものでした。

ペアレンツ・デーには、対象となる学生49名に対し、331組502名の保護者の皆様が参加されました。午前の全体会では、松永是学長の開会挨拶、渡邊敏行同窓会理事長の挨拶の後、纒縫明伯理事(教育担当副学長)から「研究と大学院進学について」、川東作保健管理センター教授から「進学・就職を控えた大学生のメンタルヘルスについて」の説明が行われました。また、東京農工大学を卒業・修了し、現在、農林水産省及び東京ガス株式会社に在職する2名のOGによる「農工大における学生生活」と題した



熱心に講演を聞く保護者の皆様  
「役に立った」という声を多数いただきました。

講演も行われ、参加された保護者の皆様は熱心に聴き入っていました。

午後の学部別分科会では、各学部のキャンパスへ移動し、より詳しい学部・学科の教育・研究内容、進学・就職状況について説明を行い、研究室見学や個別相談も行われました。参加者からは「役に立った」「安心した」「今後も是非続けていただきたい」との声が多数あり、関心の高さがうかがえる有意義な一日となりました。

平成25年度も開催する予定としていますので、参加対象となる保護者の皆様には、あらためてご案内させていただきます。

## INFORMATION

「小金井てくてく  
スタンプラリー」に  
科学博物館が参加!



小金井市主催のスタンプラリーエベントに参加。さまざまな観光施設とともに紹介されています。

文部科学省「情報ひろば」  
に学内の研究内容を展示

文部科学省総合ミュージアム「情報ひろば」の選定を受け、本学の研究成果3テーマを発表します。展示は本年8月~11月まで開催。

### グッズ販売

科学博物館ならではの  
ミュージアムグッズも販売。



鮮やかな色彩が美しい  
蚕織錦絵のポストカードや  
クリアファイル



ハンドルを回して、  
自分で作ることができる  
組紐もあります。

[facebook](https://www.facebook.com/tuatmuseum) <https://www.facebook.com/tuatmuseum>

[twitter](https://twitter.com/tuat_kahaku) [https://twitter.com/tuat\\_kahaku](https://twitter.com/tuat_kahaku)

### ACCESS

#### ■開館日・開館時間

火曜日～土曜日  
10:00～17:00(入館は16:00まで)

#### ■休館日

日曜・月曜・祝日  
5月31日(創立記念日)

#### ■入館無料

JR中央線 東小金井駅 南口  
徒歩10分

JR中央線 武蔵小金井駅 南口  
CoCo'バス(中町循環)乗車  
「農工大前」下車 徒歩0分



### 企画展示室

定期的に企画展・特別展を開催。  
学内の旬の研究を発信します。



### 繊維機械展示室

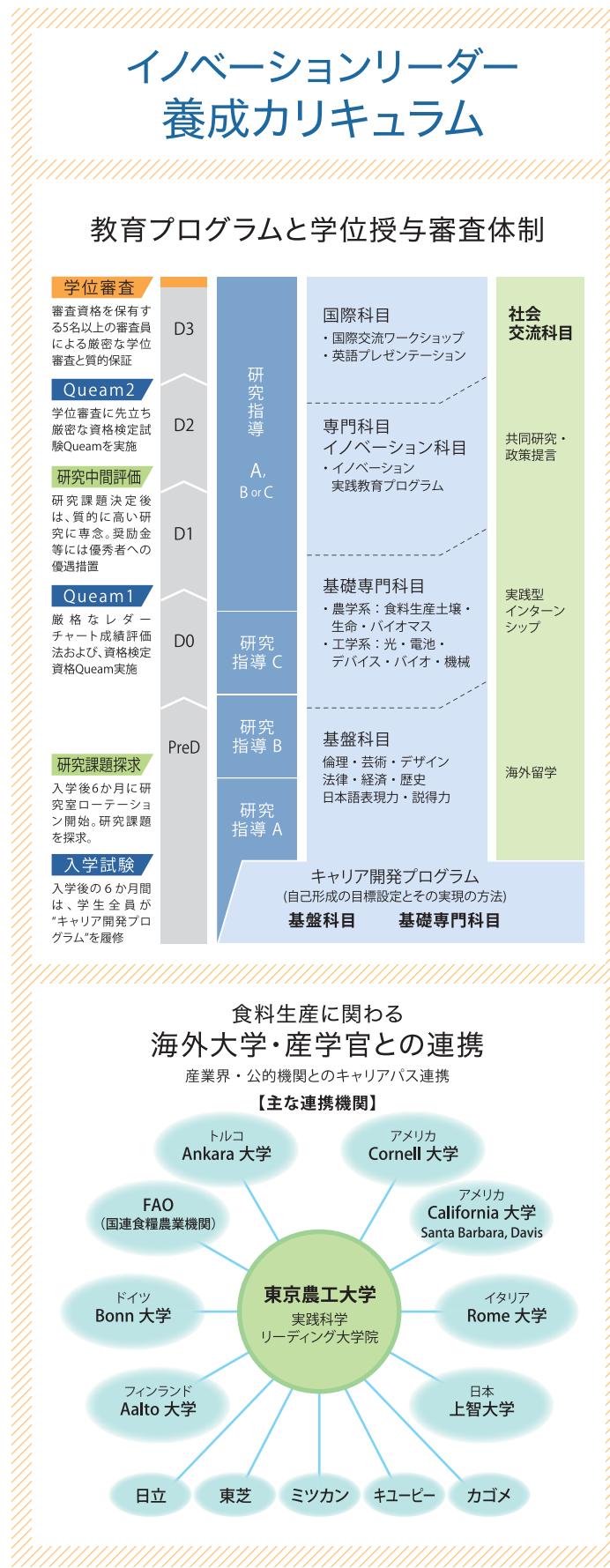
展示機械の約半数は、実際に動いて  
いるところを見ることができます。

### 養蚕展示室

東京高等蚕糸学校関連資料  
100種類におよぶ繭標本や生糸標本群は博物館の主要コレクションのひとつ。大正時代以前の展示ケースが使われています。

東京高等蚕糸学校  
時代の資料を、當時の状態で展示。





# 実践科学 リーディング大学院

## 博士課程教育リーディングプログラム 複合領域(環境)に 採択決定!

4月から学生たちのカリキュラムが  
始まるリーディング大学院について、  
千葉一裕教授にお伺いしました。

——リーディング大学院とは、どのようなプログラムなのでしょうか?

博士課程を履修するという意味では、従来の大学院と同じですが、リーディング大学院ではイノベーションをけん引するリーダーになれる人材を育てることに重点を置いています。

えています。基盤科目で学ぶのは、日本語表現力や説得力、芸術、デザインなどリーダーに必要な力を身につけていきます。また、イノベーションの「本家、スタンフォード大学のSRI」という研究機関施設とも5年前から交流を続け、新しい価値を創造するスキルを学ばせてもらっています。SRIは、パソコンのマウスを開発したり、ディズニー・ランドを建てるあたりアナハイムという立地を提案した研究機関施設ですね。今年の9月から始まる国際連携ワーク

——博士学位取得までに就職決定を目指していますね。

ショップでも、SRIを訪れイノベーションを実現するための特別なトレーニングを受ける予定です。

——博士学位取得までに就職決定を目指していますね。

本学は従来からさまざまな企業や研究機関との産学連携を深めてきました。リーディング大学院でも、ワークショップやグループワークを通じて、より密接な連携を持つ予定です。さらに、コース途中に行う試験では企業や研究機関の方々にも達成度を確認していただき良い人材を選抜してもらう体制を行います。ただし、いわゆる「大企業に就職する人材を養成することだけが」の「コースの目的ではありません。新しい産業や事業を創出する力をもって、チームや組織をけん引する、それくらい大きなビジョンを描ける人材を育てる」ことを目的にしています。

学長補佐・イノベーション推進機構長  
大学院農学研究院 副院長・教授  
農学博士

千葉 一裕

——本学のリーディング大学院の特徴についてお聞かせください。

わたくしたちのリーディング大学院は「グリーン・クリーン食料生産を支える」というテーマを持っています。食料生産には、水や太陽という自然の力だけでなく、天然ガスや石油を使った肥料の開発や太陽電池やLEDなどの工学系の最先端の技術が密接に関係しています。ご存じのように、ノベーションリーダーに求められる、新しい価値創造の力、そしてそれを提案する説得力などを身につけるのは理系の教育では不足でした。

そこで、コースの最初にキャリア開発プログラムと、人間基礎学ともいえる基盤科目を履修項目に組み入れました。キャリア開発プログラムでは、学生が主体となりグループワークを行います。目的は、在学中の5年間や、これから長い人生において、日本社会や世界の中で何をするのかを定めることです。明確で大きな目標を掲げることで、学ぶべきことも明確になると考

だと言われています。これを実現するために最も重要なのがリーダーの存在です。大きな事業をけん引する力、新しい産業創出に貢献する力を蓄える人材を一貫教育で育てるそれがリーディング大学院です。

